

ゲンティン・シンガポール (GENS)

現金残高は横ばい。7/1 に営業を一部再開したほか、
 横浜市の IR 参入を目指すなど守りから攻めに転換へ
 シンガポール | カジノ・ゲーミング | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG GENS:SP | REUTERS GENS.SI

- 2020/12 期 1H (1-6 月) は、売上高が前年同期比 64.9%減、調整後 EBITDA が同 89.3%減、純利益が赤字転落だった。
- 政府によるサーキットブレーカー発動が業績を直撃したが、投資・財務の支出削減により6月末現金残高は前年同期比横ばいを確保。
- 7/1 に一部会員向けに営業を再開したほか、日本の IR(統合リゾート) 参入に向け横浜市の RFC へ応募。守りから攻めへの転換を期待。

What is the news ?

8/6発表の2020/12期1H(1-6月)は、売上高が前年同期比64.9%減の4.48億SGD、営業利益が前年同期の4.73億SGDから▲1.20億SGDへ、純利益が同3.73億SGDから▲1.16億SGDへ赤字転落。ただし、支出削減の徹底により調整後EBITDAは同89.3%減の6,665万SGDと黒字を確保した。今年2月以降の新型コロナウイルス感染の影響による訪問者の激減、およびシンガポール政府が4/6から6/1まで生活に必要不可欠ではない事業のサービスを停止する厳しい「サーキットブレーカー」を発動したことが業績を直撃した。その一方、キャッシュフローでは、営業キャッシュフローが同94.1%減の3,103万SGDと落ち込んだものの、投資キャッシュフローを同78.9%減の3,864万SGD、財務キャッシュフローを同66.6%減の3.06億SGDと抑えたことが奏功し、今年6月末の現金残高は同横ばいの36.33億SGDとなった。

セグメント別の売上高は、①シンガポールのIR部門のカジノ事業が前年同期比68.5%減の2.74億SGD、②同部門のホテルやレジャー施設などの非カジノ事業が同61.7%減の1.54億SGD、③投資事業やサポート全般を担うその他の部門が同13倍の1,916万SGDだった。セグメント別の調整後EBITDAは、①および②を合計したシンガポールのIR部門が同87.6%減の8,023万SGD、その他部門(③)が前期の▲2,169万SGDから▲1,357万SGDへ赤字縮小となった。

How do we view this ?

政府のサーキットブレーカーが解除された7/1以降、特典を受けられる「ゲンティン・リワード」会員やその他の会員限定でカジノを再開したほか、ユニバーサルスタジオ・シンガポールやS.E.A水族館の営業を再開。また、45億SGDに及ぶ大規模拡張計画である「RWS 2.0」についても、新型コロナウイルス感染防止のための設計変更、およびそれに伴うスケジュール変更などを含めて進めていく方針である。また、日本のIR(統合リゾート)新規参入に関し、横浜市の「事業構想公募」(RFC)へ応募したところであり、横浜市からの「提案依頼書」(RFC)を待っている段階である。2020/12通期の市場予想は、売上高が前期比64.0%減の8.91億SGD、当期利益が前期の6.88億SGDから▲1.41億SGDへ赤字転落。

業績推移

※参考レート 1SGD=77.83円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万SGD)	2,392	2,539	2,480	891	1,800
純利益(百万SGD)	685	755	688	-141	370
EPS(SGD)	0.05	0.06	0.06	-0.01	0.03
PER(倍)	13.80	11.50	11.50	-	22.26
BPS(SGD)	0.62	0.64	0.67	0.62	0.62
PBR(倍)	1.11	1.08	1.03	1.11	1.11
配当(SGD)	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03
配当利回り(%)	5.80	5.80	5.80	4.35	4.35

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) 0.03 (予想はBloomberg)
 終値(SGD) 0.690 2020/9/1

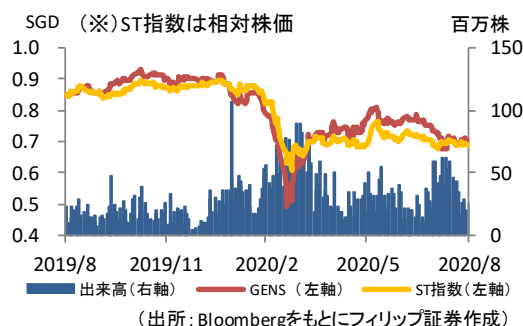
会社概要

マレーシアの実業家・富豪であるリム・ゴートンが設立したコングロマリットのゲンティン社を親会社とする。1984年にマン島で設立後、2005年にシンガポール取引所に上場。2018年に英国マン島からシンガポールに住所を移転した。30年以上にわたり、オーストラリア、バハマ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、英国で、カジノ(ゲーム)および統合リゾート(Integrated Resort: IR)の開発を手掛けてきた。

2010年にシンガポールの一大観光地セントーサ島にファミリー向けトロピカルリゾートとして開発した「リゾート・ワールド・セントーサ(RWS)」は、ユニバーサルスタジオ・シンガポールやS.E.A水族館をはじめとする世界屈指のエンタテインメント施設であり、東南アジアで最大クラスの統合リゾートである。シンガポール初となるカジノのほか、6つのホテル、博物館といった様々なリゾート要素が一堂に集まっている。

企業データ(2020/9/2)

ベータ値	1.14
時価総額(百万SGD)	8,325
企業価値=EV(百万SGD)	4,960
3か月平均売買代金(百万SGD)	21.3



主要株主(2020/9)

株主	(%)
1.ゲンティン	52.66
2.VANGUARD GROUP	1.52
3.ブラックロック	1.20

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

2020年9月2日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。